

災害・紛争…混とんとした時代に 私たちはどんな未来を選ぶのか ～阪神・淡路大震災30年を目前に～

昨今の災害・気候危機、紛争・戦争、感染症などが世界各地で頻発し、様々な情報が錯そうするグローバル社会で、私たち市民は何を想い、何を大切に次世代へとバトンをつないでいかなければいけないのか。本セミナーでは、現場で人々の暮らしや命を見つめてきた安田さんにご講演いただき、市民一人ひとりが、未来の社会を考える機会にしたいと思います。

日時 **2024年**
1月13日(土)
13:30~15:30

場所 **近畿ろうきん**
肥後橋ビル12Fメインホール

講師 **安田菜津紀** さん
(認定NPO法人
Dialogue for People
副代表)

参加費 **無料**

定員 **先着70名**

*** 要事前申込 (裏面より)**



トルコ・シリア地震の被災地

主催 CODE海外災害援助市民センター

CODE

共催 近畿労働金庫、関西NGO協議会

はたらくあなたへ、笑顔を届けに
近畿ろうきん



安田菜津紀さん

1987年神奈川県生まれ。認定NPO法人Dialogue for People（ダイアログフォーピープル/D4P）フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたち取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『国籍と遺書、兄への手紙 ルーツを巡る旅の先に』（ヘウレーカ）、他。上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。



「軍事侵攻を受けたウクライナでは、国内外で多くの人々が避難生活を続けています。一方、戦争が12年以上続いてきたシリアでも、厳しい現状が続いています。同じく12年が経つ東日本大震災で、被災地となった岩手県陸前高田市で出会った人々、子どもたちは、今どのような思いで街を見つめているのでしょうか。取材で撮影した写真と共に、今私たちに何ができるのか、そしてどんな未来を選んでいきたいのかを考えたいと思います。」

主催・共催団体のご紹介

CODE 海外災害援助市民センター

1995年の阪神・淡路大震災の時に世界から支援をいただいた恩返しに「困ったときはお互いさま」の精神で設立され、アジア・中南米を中心とした災害被災地で住宅再建や雇用創出などの復興支援を行っています。



近畿労働金庫

労働組合や生活協同組合の働く仲間が、お互いに助け合うために資金を出し合って作った非営利・協同組織の〈福祉金融機関〉です。

<会場へのアクセス>



【近畿ろうきん肥後橋ビル】
大阪市西区江戸堀1-12-1

大阪メトロ 四つ橋線「肥後橋駅」
10番出口すぐ
京阪電車 中之島線「渡辺橋駅」
7番出口より徒歩5分



関西NGO協議会

主に関西に活動拠点をおくNGOが全国・世界のNGO/CSO同士のネットワークを形成し連帯を促進することで、それぞれの活動をより充実・発展させることを目的としたネットワーク型の国際協力NGOです。

お申込み

URL/QRコードの申込みフォーム、または下記の「お問い合わせ」よりお申込みください。
https://docs.google.com/forms/d/1ZNhTysu_mf5xRwnx5hLgfRpR7TC9aruxyMbVNHjO5s/edit

お問い合わせ

CODE海外災害援助市民センター
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10
TEL:078-578-7744 FAX:078-574-0702
Email: info@code-jp.org

